

兵庫大学生涯福祉学部履修規程

平成 20 年 4 月 1 日制定
兵 大 程 第 134 号

(目的)

第 1 条 この規程は、兵庫大学学則（以下「学則」という。）に基づき、兵庫大学生涯福祉学部（以下「本学部」という。）の授業科目、履修方法、試験、成績評価、卒業の資格等について必要な事項を定めることを目的とする。

(授業科目)

第 2 条 学則第 19 条別表第 5、別表第 6-1、6-2 及び 6-3 に掲げる授業科目を分けて、共通教育科目及び専門教育科目とする。

(必修科目、選択科目)

第 3 条 授業科目を卒業要件上、次のとおり分ける。

- (1) 必修科目・・・必ず履修しなければならない科目
- (2) 選択科目・・・指定された科目の中から、所定の科目数又は単位数により選択し、履修しなければならない科目

(単位の計算方法)

第 3 条の 2 授業科目の単位の計算方法は、学則第 21 条に規定するところによる。ただし、1 単位の授業時間が講義・演習 30 時間、実験・実習又は実技 40 時間又は 45 時間の授業科目については別表 1 のとおりとする。

(履修登録)

第 4 条 学生は履修しようとする授業科目について学期初めの指定期日までに履修登録届を教務課に提出しなければならない。

2 学生が履修登録できる単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数（年間）	学期の上限
社会福祉学科	60	36
こども福祉学科	50	30

3 履修登録を行わなかった授業科目については、単位認定の対象としない。

4 その他履修登録について必要なことは、別に定める。

(進級要件)

第 5 条 社会福祉学科については、4 年次に進級するためには、3 年次終了までに次の各号のいずれかを充足していなければならない。

- (1) 卒業要件の対象となる科目について、80 単位以上を修得し、かつ第 15 条に定める全履修科目の単位当たりの成績の平均値（以下「GPA」という。）の累積が 2.0 以上。
- (2) 卒業要件の対象となる科目について、94 単位以上修得

第5条の2 こども福祉学科については、3年次に進級するためには、2年次終了までに次の各号のいずれかを充足していなければならない。

- (1) 卒業要件の対象となる科目について、50単位以上を修得し、かつ第15条に定める全履修科目の単位当たりの成績の平均値（以下「GPA」という。）の累積が2.0以上
- (2) 卒業要件の対象となる科目について、62単位以上修得

（相談援助実習、精神保健福祉援助実習の履修要件）

第6条 社会福祉学科において、「相談援助実習」「精神保健福祉援助実習」を履修登録するためには、履修登録時までにそれぞれ別表2に指定する科目を修得していなければならない。

（保育実習の履修要件）

第6条の2 こども福祉学科において、「保育実習ⅠA」「保育実習ⅠB」「保育実習指導ⅠA」「保育実習指導ⅠB」「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」「こども音楽療育実習」「児童福祉実習」を履修登録するためには、履修登録時までにそれぞれ別表3に指定する科目を修得していなければならない。

（児童厚生員一級指導員の取得要件）

第6条の3 こども福祉学科において、児童厚生員一級指導員の資格を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ別に定める科目を修得していなければならない。

（再履修）

第7条 学生は、不合格となった授業科目を修得するためにその科目を翌年度以降に再履修することができる。

2 試験の結果、可以上の評価を得た授業科目については、再履修することができない。

（試験の種類）

第8条 本学部で行う試験は次のとおりとする。

- (1) 定期試験
- (2) 追試験
- (3) 再試験

（試験の受験資格）

第9条 次の各号の一に該当する場合は、当該各号の授業科目について試験を受けることができない。

- (1) 試験を受けようとする授業科目をその学期において履修登録していないときその授業科目
- (2) 定められた期日までに授業料等の学納金等を完納していないとき全授業科目

- (3) 授業の出席回数が、当該授業科目の定められた授業実施回数の三分の二に満たないときその授業科目。ただし、学外実習科目については別に定める。

(定期試験)

- 第10条 定期試験は、学期末にその履修した授業科目について筆答、論文、実技等の方法で行う。
- 2 前項の試験は、その授業のある学期中に随時行う考査等をもって代えることができる。
 - 3 定期試験の判定は、100点満点とする。
 - 4 その他定期試験について必要なことは、別に定める。

(追試験)

- 第11条 学生は、病気その他やむを得ない理由により定期試験を受験することができなかった場合、追試験を受験することができる。
- 2 追試験を希望する者は、あらかじめ試験開始日までにその旨を教務課へ届けなければならない。
 - 3 学部長は、前項の者が追試験願を提出し妥当と認めたときは、追試験を行う。
 - 4 追試験は、一回のみ行う。
 - 5 追試験の判定は、定期試験に準ずる。
 - 6 その他追試験について必要なことは別に定める。

(再試験)

- 第12条 社会福祉学科において、学生は、定期試験等を受験し、不可となった履修登録科目のうち、点数が40点～59点の学科専門教育科目の講義科目について、再試験を受験することができる。ただし、受験できる科目数は、各学期二科目までとする。
- 2 こども福祉学科において、学生は、定期試験等を受験し、不可となった履修登録科目について、再試験を受験することができる。ただし、受験できる科目は、学科専門教育科目の講義科目又は演習科目とし、受験できる科目数は、I期、II期を通じて最大四科目とする。
 - 3 再試験を希望する者は、所定の受験料を添えて、所定の期日にその旨を教務課に届けなければならない。
 - 4 教務委員長は、前項の者が再試験願を提出し妥当と認めたときは、再試験を行う。
 - 5 再試験は一科目につき一回のみ行う。
 - 6 再試験の成績評価は、可又は不可の評価をもってする。
 - 7 その他再試験について必要なことは、別に定める。

(不正行為)

- 第13条 受験中に不正行為を行った者に対しては、試験室からの退室及び教務課への出頭を命じ、当該科目の受験を無効とする。

(成績評価)

第 14 条 成績の判定は点数で、成績通知は秀、優、良、可、不可の評価をもって
する。

2 成績評価は次の基準によるものとし、可以上をもって合格とする。

- (1) 秀 90 点～100 点
- (2) 優 80 点～ 89 点
- (3) 良 70 点～ 79 点
- (4) 可 60 点～ 69 点
- (5) 不可 60 点未満

3 前項の規定にかかわらず、第 9 条第 3 号に規定する当該授業科目の成績評価は
「欠格」とする。

(GPA)

第 15 条 各学期毎に、GPA を表示し、以下の計算式によって算出する。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

(小数点第 3 位以下切り捨て)

2 前項の算出については、卒業要件に関する科目を対象とする。

3 成績評価に対するグレードポイントは、次のとおりとする。

成績評価	グレードポイント
秀	4.0
優	3.0
良	2.0
可	1.0
不可	0.0

(単位の授与)

第 16 条 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(卒業要件)

第 17 条 所定の期間在学し、別表 4 に定める授業科目群から、社会福祉学科は 124
単位以上、こども福祉学科は 130 単位以上を修得した者について卒業を認定し、
学士の学位を授与する。

(規程の改廃)

第 18 条 この規程の改廃は、教務委員会及び教授会に諮り、大学運営会議の議を
経て、学長が決定する。

(雑則)

第 19 条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は学部長が
定める。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条第 3 号の規定については、平成 25 年以前に入学した在学者にも適用する。

附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条第 2 項については、平成 26 年度以前に入学した在学生にも適用する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 12 条第 1 項については、平成 27 年度以前に入学した在学生にも適用する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 15 条の規定については、平成 30 年度以前に入学した在学者にも適用する。

別表 1 (第 3 条の 2 関係)

学科	授業形態	1 単位の授業時間	授業科目
社会福祉学科	実習	45 時間	「相談援助実習」 「精神保健福祉援助実習」 「インターンシップ」
こども福祉学科	演習	30 時間	「乳児保育Ⅱ」 「障害児保育Ⅰ」 「障害児保育Ⅱ」 「社会的養護Ⅱ」 「こどもの健康と安全」

			「こどもの食と栄養Ⅰ」 「こどもの食と栄養Ⅱ」 「保育内容・音楽表現」 「保育内容・身体表現」 「保育内容・言語表現」 「保育内容・造形表現」 「こども音楽療育演習」 「子育て支援」 「保育実習指導ⅠA」 「保育実習指導ⅠB」 「保育実習指導Ⅱ」 「保育実習指導Ⅲ」 「教育実習指導」 「児童福祉実習指導Ⅰ」 「児童福祉実習指導Ⅱ」
	実習	40 時間	「保育実習ⅠA」 「保育実習ⅠB」 「保育実習Ⅱ」 「保育実習Ⅲ」 「教育実習」 「こども音楽療育実習」 「児童福祉実習Ⅰ」 「児童福祉実習Ⅱ」

別表 2 (第 6 条関係)

授業科目	指 定 す る 科 目 名
相談援助実習	「現代社会と福祉Ⅰ」「現代社会と福祉Ⅱ」 「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」 「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」 「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」 「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」 「相談援助の理論と方法Ⅰ」「相談援助実習指導Ⅰ」 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助基礎実習」
精神保健福祉援助実習	「精神保健の課題と支援Ⅰ」「精神保健の課題と支援Ⅱ」 「精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ」 「精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ」 「精神障害者の生活支援システム」

別表 3 (第 6 条の 2 関係)

授業科目	指 定 す る 科 目 名
保育実習 I A 保育実習 I B 保育実習指導 I A 保育実習指導 I B	「こども家庭福祉」「保育原理 I」「社会的養護 I」 「こどもの心理学 I」「乳児保育 I」「こどもの保健」
保育実習 II 保育実習指導 II	「保育実習 I A」「保育実習 I B」
保育実習 III 保育実習指導 III	「保育実習 I A」「保育実習 I B」
こども音楽療育実習	「保育実習 I A」「保育実習 I B」
児童福祉実習	「保育実習 I A」「保育実習 I B」

別表 4 (第 17 条関係)

社会福祉学科

授 業 科 目 群	共通教育科目	22 単位以上	
	専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	16 単位以上
		相談援助共通科目	30 単位以上
		相談援助基盤科目	4 単位以上
		専門発展科目	4 単位以上
その他、上記の授業科目群のいずれかから		48 単位以上	
		合計 124 単位以上	

こども福祉学科

授 業 科 目 群	共通教育科目	10 単位以上	
	専 門 教 育 科 目	社会福祉基盤科目	14 単位以上
		こども福祉基盤科目	20 単位以上
		専門科目 I 群	26 単位以上
		専門科目 II 群	30 単位以上
		発展科目	—
その他、上記の授業科目群のいずれかから		30 単位以上	
		合計 130 単位以上	